

がじゅまる（デジタル） 通知表の活用②

【私の成長発表会について】

- 本校では、がじゅまる（デジタル）通知表の学習データ、学校生活ルーブリックデータ、成果物データ等を活用し、「私の成長発表会」を行っています。
教育D Xの取組の一環として、2030年度から施行される新学習指導要領「情報の領域」への具体的な取組につなげていきたいと考えています。

テ ー マ	児童一人ひとりの「情報活用能力」を伸ばす授業づくり ～情報科「がじゅまるタイム（合科単元）『私の成長発表会』」における、がじゅまる（デジタル）通知表の活用を通して～			
目 的	自己目標の達成に向けて、自分で考え、計画し、行動できる児童を育成する 児童につけたい資質・能力・・・「情報活用能力」 ①情報を保存する力 ②情報を分析する力 ③情報を整理し、発表する力			
単 元 名	「私の成長発表会」			
方 針	1	成長発表会を通し、自己の成長を実感させ、次の学びへの意欲づけを図る。		
	2	がじゅまる通知表における教育データ（テストや成果物等）の保存を日常化し、発表会までの見通しを持たせる。		
	3	成長発表会は前期と後期に1回ずつ行い、児童の相互評価を取り入れる。		
	4	時数は国語③×2 道徳①×2 特別活動①×2 総合③×2 前期8h、後期8hの16時間とする。		
	5	教師と保護者はチームを組み、三者ミーティングでの個人内評価を通し、成長発表会に向けての支援を行う。		
	6	成長発表会を学級だけでなく家庭でも行うなど、課題と成果を教師と保護者で共有し、学びの支援につなげる。		
方 法	1	単元名：「私の成長発表会」 時数：8時間 実施時期：10月と3月		
	2	ねらい：「私の成長発表会」を通して、児童一人ひとりの自己効力感を高めたり、情報活用能力を育んだりする。		
	3	学習活動のイメージ		
		①課題の設定	②情報の収集	③整理・分析
		相手にわかりやすく伝えられるように、「私の成長発表会」のプレゼン方法を決めよう ○自分のアピールしたいこと（できるようになったこと、わかるようになったこと等）を決める。 ○前年度の「成長発表会」の振り返りをもとに、よりよい発表方法について考える ○学習の進め方について計画を立てる。	がじゅまる通知表のデータから、発表に必要なデータを集めよう ○自分のアピールしたいことをもとに、それに必要な情報を収集する。	がじゅまる通知表のデータをもとに自分の成長の様子を表やグラフ、図（絵）AIポスターや言葉などで表そう ○表やグラフ、図（絵）やAIポスター、言葉などで表すことのよさを理解し、自分の伝えたいことをどれを使って表現したらよいかを考える。
関 連 教 材	3	④まとめ・表現・発表		
		成長新聞やPPなどにまとめ、シナリオをもとに学級や家で成長発表会をしよう。 ○表やグラフ、図（絵）や言葉などを使い、新聞やPPなどにまとめ、発表会を行う。 相互評価を通してお互いの成果を認め合ったり、課題については助言を行ったりして次の学びへの意欲付けとする。		
参 考 文 献	1	【成長発表会につながりそうな単元・がじゅまる通知表のデータを活用できそうな単元】 1年生・・・生活科「1年生をふりかえろう」 国語科「これは、なんだろう」※ふたりで かんがえよう（もんだいにするものをきめよう） 2年生・・・生活科「おおきくなったね」 国語科「楽しかったよ2年生」※組み立てを考えてはっぴょうしよう 3年生・・・国語科「お気に入りの場所、教えます」※つたえたいことを、理由をあげて話そう 4年生・・・国語科「調べて話そう、生活調査隊」※調べて分かったことを話そう 5年生・・・国語科「子ども未来科」で何をする ※事実と感想、意見を区別して、説得力のある提案をしよう 6年生・・・国語科「今、私は、ぼくは」※資料を使って、みりょく的なスピーチをしよう（プレゼンテーションソフト）		
		1. 決めよう あつめよう ↓ 2. 準備しよう ↓ 3. 話そう・聞こう ↓ 4. 感じたことをつなげよう		
参 考 文 献	2	1. 文部科学省「効果的な教育データ利活用に向けた推進方策について」 2. 令和7年度版「自立した学習者」育成プロジェクト 3. 沖縄県キャリア教育の基本方針 4. 豊見城市教育ビジョン2024～2026 等		